

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場会社名 横浜ゴム株式会社

上場取引所 東 大名

 コード番号 5101 URL <http://www.yrc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 南雲 忠信

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長

(氏名) 森田 史夫

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

 TEL 03-5400-4520
 平成21年11月30日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	202,065	△21.3	△2,354	—	△3,672	—	△3,930	—
21年3月期第2四半期	256,643	—	5,613	—	3,822	—	554	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△11.73	—
21年3月期第2四半期	1.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	462,950	146,795	30.9	426.23
21年3月期	473,376	144,159	29.6	417.45

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 142,862百万円 21年3月期 139,923百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	6.00	—	4.00	10.00
22年3月期	—	4.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	6.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	465,000	△10.1	17,000	32.7	12,000	—	7,000	—	20.88

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	342,598,162株	21年3月期	342,598,162株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	7,416,257株	21年3月期	7,408,825株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	335,185,109株	21年3月期第2四半期	335,236,461株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が作成した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）における世界経済は、一部で回復基調に転じる兆しがあったものの、全体で見れば昨年からの危機的状況が継続しました。わが国においても、地球温暖化防止策に絡めた景気刺激策は景気の不透明感を完全に払拭するには至らず、需要が低調に推移しており、依然として厳しい市場環境にあります。

こうした状況のもと、当社グループは、経費削減等の内部改善努力を通して危機的状況への対応を進めるとともに、需要減少の中でも販売シェアを向上するべく、営業体制の強化と効率化を進めてまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は2,020億65百万円（前年同期比21.3%減）、連結営業損失は23億54百万円（前年同期は56億13百万円の利益）、連結経常損失は36億72百万円（前年同期は38億22百万円の利益）、連結四半期純損失は39億30百万円（前年同期は5億54百万円の利益）となりました。

タイヤ事業の売上高は1,560億26百万円（前年同期比19.5%減）、営業損失は25億47百万円（前年同期は32億円の利益）となりました。長引く世界同時不況の影響下では景気刺激策の効果も一部にとどまり、自動車生産台数も減少したまま推移していること等が影響し、売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。

MB事業の売上高は460億38百万円（前年同期比26.7%減）、営業利益は1億74百万円（前年同期比93.6%減）となりました。同様に長引く不況による需要低迷で各事業の販売は低調に推移し、売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における総資産は4,629億50百万円となり、前期末に比べ104億25百万円減少しました。これは、投資有価証券の時価評価による増加があったものの、売上債権及びびたな卸資産が減少したことによるものです。

負債は3,161億55百万円となり、前期末に比べ130億61百万円減少しました。これは、有利子負債の増加があったものの、買入債務等が減少したことによるものです。

純資産合計は、1,467億95百万円となり、前期末に比べ26億35百万円増加しました。これは、配当金の支払いがあったものの、株価および為替相場変動の影響により評価・換算差額等が増加したことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の市場環境につきましては、世界的な経済不安に伴う需要の低迷や、原材料価格の高止まり、為替相場の動向など、依然として厳しい状況が続くものと懸念されます。

当社の状況につきましては、タイヤ事業、MB事業とも各種施策を展開し増販に努めてまいりますが、年度前半の需要減の影響が大きく、売上高は当初予想を下回る見込みです。

原材料価格につきましては昨年度のような乱高下はないものの高値で推移しており、円高傾向の続く為替相場の動向と併せて、収益面での不安定要素となっております。

こうした状況に対し、引続きコスト削減などの内部改善を継続することで収益確保を見込み、営業利益、経常利益、当期純利益の見通しにつきましては期初予想を据置いております。

なお、為替レートにつきましては、第3四半期以降の想定レートを、1US\$=90円、1ユーロ=135円としており、通期では、1US\$=93円、1ユーロ=134円を想定しております。

通期の見通しは、次のとおりであります。

<連結業績見通し>

I. 通期

(億円)

	従来予想	今回予想	増減額	前期実績
売上高	4,900	4,650	△250	5,173
営業利益	170	170	—	128
経常利益	120	120	—	4
当期純利益	70	70	—	△57

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

一部の連結子会社においては、固定資産の年度中の取得、売却または除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

③ 法人税等ならびに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化がなく、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,659	16,274
受取手形及び売掛金	77,318	91,103
商品及び製品	60,230	61,392
仕掛品	7,806	8,588
原材料及び貯蔵品	13,976	16,995
その他	18,878	18,151
貸倒引当金	△885	△1,007
流動資産合計	190,983	211,497
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	60,032	59,692
機械装置及び運搬具(純額)	80,055	77,263
その他(純額)	55,176	57,337
有形固定資産合計	195,264	194,294
無形固定資産		
投資その他の資産	1,406	1,442
投資有価証券	53,227	43,869
その他	23,234	23,847
貸倒引当金	△1,166	△1,574
投資その他の資産合計	75,295	66,141
固定資産合計	271,966	261,878
資産合計	462,950	473,376
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	58,690	71,384
1年内償還予定の社債	10,000	—
コマーシャル・ペーパー	8,000	19,000
短期借入金	103,149	93,186
未払法人税等	952	1,608
役員賞与引当金	34	54
その他	34,498	42,101
流動負債合計	215,324	227,335
固定負債		
社債	20,000	30,000
長期借入金	42,626	37,193
退職給付引当金	17,025	17,448
その他	21,178	17,239
固定負債合計	100,830	101,881
負債合計	316,155	329,217

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,909	38,909
資本剰余金	31,952	31,952
利益剰余金	78,001	83,272
自己株式	△4,702	△4,699
株主資本合計	144,160	149,434
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13,127	7,966
為替換算調整勘定	△14,424	△17,478
評価・換算差額等合計	△1,297	△9,511
少数株主持分	3,932	4,235
純資産合計	146,795	144,159
負債純資産合計	462,950	473,376

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	256,643	202,065
売上原価	182,234	146,267
売上総利益	74,408	55,797
販売費及び一般管理費	68,794	58,152
営業利益又は営業損失(△)	5,613	△2,354
営業外収益		
受取利息	129	75
受取配当金	1,028	578
その他	856	766
営業外収益合計	2,014	1,420
営業外費用		
支払利息	1,771	1,460
為替差損	1,051	327
その他	982	950
営業外費用合計	3,805	2,738
経常利益又は経常損失(△)	3,822	△3,672
特別利益		
投資有価証券売却益	302	705
貸倒引当金戻入額	—	267
特別利益合計	302	973
特別損失		
固定資産除売却損	118	156
投資有価証券評価損	425	44
たな卸資産評価損	505	—
損害賠償金	381	—
事業撤退損	—	123
特別損失合計	1,431	324
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,693	△3,022
法人税等	1,902	1,118
少数株主利益又は少数株主損失(△)	237	△211
四半期純利益又は四半期純損失(△)	554	△3,930

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報

(事業の種類別セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日) (単位:百万円)

	タイヤ	MB	計	消 去 又は全社	連結
売 上 高					
(1) 外部顧客に対する売上高	193,825	62,817	256,643	—	256,643
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	43	9,853	9,897	(9,897)	—
計	193,868	72,671	266,540	(9,897)	256,643
営 業 利 益	3,200	2,742	5,943	(329)	5,613

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日) (単位:百万円)

	タイヤ	MB	計	消 去 又は全社	連結
売 上 高					
(1) 外部顧客に対する売上高	156,026	46,038	202,065	—	202,065
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	20	6,424	6,444	(6,444)	—
計	156,046	52,462	208,509	(6,444)	202,065
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 (△)	△ 2,547	174	△ 2,372	18	△ 2,354

(注)

1. 事業区分は売上集計区分によるもので、主要事業としてのタイヤと非タイヤ事業からなるMBとしております。

2. 各事業の主要な製品

事業区分	主 要 製 品
タイヤ	乗用車用、トラック・バス用、小型トラック用、建設車両用、産業車両用などの 各種タイヤ・チューブ、アルミホイール、自動車関連用品
MB	コンベヤベルト、ゴム板、各種ホース、防舷材、オイルフェンス、マリンホース、型物、空気バネ、 ハイウェイジョイント、橋梁用ゴム支承、ビル用免震積層ゴム、防水材、止水材、防音・防振商品、 接着剤、シーリング材、スポーツ用品、航空機用燃料タンク、シール、音響材、プリプレグ、 民間航空機用化粧室ユニット・飲料水タンク、各種ハニカム商品、金属ダクト、オイルタンク、 断熱材、バルブ、継手、シーリングコンパウンド、Vバンドカップリング、フレックスカップリング、 電磁波シールド材、情報処理サービス、不動産賃貸等

(所在地別セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日) (単位:百万円)

	日本	北米	アジア	その他	計	消 去 又は全社	連結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	179,584	50,333	12,203	14,521	256,643	—	256,643
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	35,242	383	19,303	—	54,929	(54,929)	—
計	214,826	50,717	31,507	14,521	311,572	(54,929)	256,643
営 業 利 益	1,573	1,967	1,544	551	5,637	(23)	5,613

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日) (単位:百万円)

	日本	北米	アジア	その他	計	消 去 又は全社	連結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	140,553	40,499	9,642	11,369	202,065	—	202,065
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	27,458	19	14,661	—	42,139	(42,139)	—
計	168,012	40,519	24,303	11,369	244,204	(42,139)	202,065
営業利益又は営業損失(△)	94	△ 900	476	△ 55	△ 384	(1,969)	△ 2,354

(注)

1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
北 米 …… 米国、カナダ
ア ジ ア …… フィリピン、タイ、中国、台湾
そ の 他 …… 大洋州、欧州

(海外売上高)

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日) (単位:百万円)

	北米	その他	計
I 海外売上高	52,407	66,270	118,678
II 連結売上高			256,643
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	20.4	25.8	46.2

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日) (単位:百万円)

	北米	その他	計
I 海外売上高	43,216	46,937	90,153
II 連結売上高			202,065
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	21.4	23.2	44.6

(注)

1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
2. 各区分に属する主な国又は地域
北 米 …… 米国、カナダ
その他 …… 大洋州、欧州、アジア等
3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。